

昭和48年度 漁海況予報事業結果報告

I 調査の実施状況

- (1) 実施機関 沖縄県水産試験場
- 担当者 当真嗣誠(総括)
- 友利昭之助(海洋, 資源とりとめ, 調査)
- 久貝一成(調査)
- 川崎和男(調査)
- 喜屋武俊彦(卵, 稚仔, とりまとめ, 調査)
- 金城武光(廃油塊とりまとめ, 調査)
- 吉川一男(市場水揚とりまとめ, 調査)

- (2) 沖合定線調査(1定線) 定線名 久米島北西沖合定線

(イ) 実施調査船

船名 凶南丸 船長名 赤嶺正弘 乗組員数 総員20名

調査船項目

吨数 159.31トン

馬力 400PS

機関の種類 ウスキディーゼル6 USD-26-AS 補機 ヤンマー3LDL48PS

(2台)

速力 8ノット

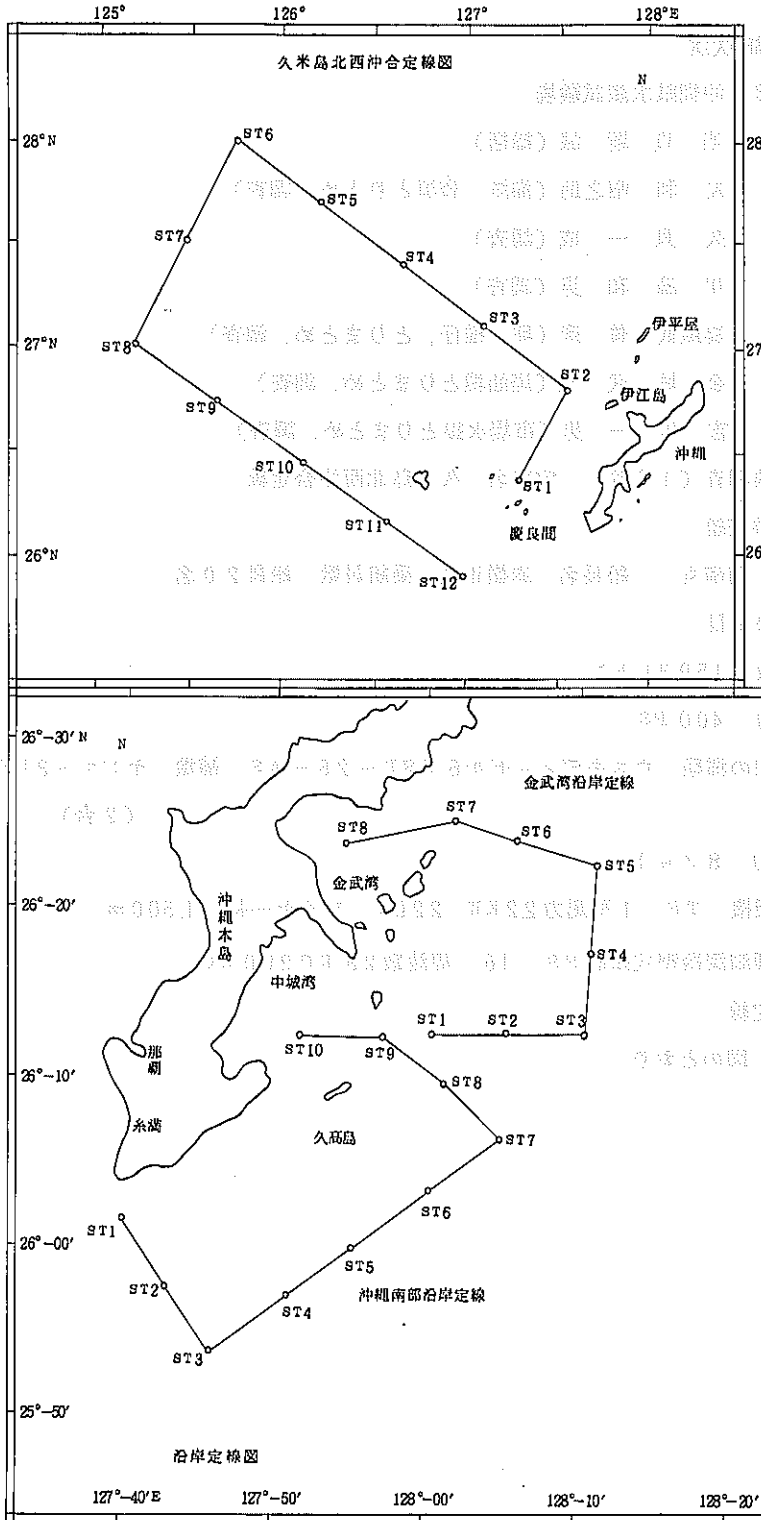
測深機 TS-1型馬力2.2KW 220V ワイヤー長 1,500m

音響測深機型式産研SS-16 周波数28KC 200KC

(ロ) 観測定線

第1図のとおり

定線定点図 沖繩県水産試験場



定 点 位 置

沖 合 定 線			沿 岸 定 線			沿 岸 定 線		
久米島北西沖合定線			沖繩南部沿岸定線			金武湾沿岸定線		
ST NO	Lat (N)	Long (E)	ST NO	Lat (N)	Long (E)	ST NO	Lat (N)	Long (E)
1	26°-23'	127°-17'	1	26°-04'	127°-39.5'	1	26°-13'	128°-00'
2	26°-49'	127°-33'	2	25°-58'	127°-43'	2	26°-13'	128°-05'
3	27°-06'	127°-06'	3	25°-54'	127°-46'	3	26°-13'	128°-10'
4	27°-24'	126°-40'	4	25°-57'	127°-51'	4	26°-18.5'	128°-10.5'
5	27°-42'	126°-13'	5	25°-59'	127°-56'	5	26°-23'	128°-11'
6	28°-00'	125°-46'	6	26°-03'	128°-01'	6	26°-24'	128°-06.5'
7	27°-35'	125°-30'	7	26°-06.5'	128°-05'	7	26°-25.5'	128°-02'
8	27°-08'	125°-13'	8	26°-09'	128°-01'	8	26°-24'	127°-55'
9	26°-50'	125°-40'	9	26°-12.9'	127°-57.2'			
10	26°-32'	126°-05'	10	26°-12.9'	127°-52.3'			
11	26°-13'	126°-34'						
12	25°-54'	127°-00'						

(イ) 調査項目

- a) 水温塩分の各層観測 0, 10, 20, 30, 50, 75, 100, 150, 200, 300 m層
- b) 一般気象海象の観測

c) 産卵調査

ST 1~ST 6の6点で実施 稚魚ネット(⊕ネット)の表層水平曳(約2ノットで5分間曳)	稚魚ネット(⊕ネット)の表層水平曳(約2ノットで5分間曳)	稚魚ネット(⊕ネット)の表層水平曳(約2ノットで5分間曳)	稚魚ネット(⊕ネット)の表層水平曳(約2ノットで5分間曳)	稚魚ネット(⊕ネット)の表層水平曳(約2ノットで5分間曳)	稚魚ネット(⊕ネット)の表層水平曳(約2ノットで5分間曳)
⊕ネット(口径45cm) 150→0 mの鉛直曳	⊕ネット(口径45cm) 150→0 mの鉛直曳	⊕ネット(口径45cm) 150→0 mの鉛直曳	⊕ネット(口径45cm) 150→0 mの鉛直曳	⊕ネット(口径45cm) 150→0 mの鉛直曳	⊕ネット(口径45cm) 150→0 mの鉛直曳
d) 魚群生態調査	魚群探知機による調査	魚群探知機による調査	魚群探知機による調査	魚群探知機による調査	魚群探知機による調査
e) その他	潮目, DSL, その他特異現象等	潮目, DSL, その他特異現象等	潮目, DSL, その他特異現象等	潮目, DSL, その他特異現象等	潮目, DSL, その他特異現象等

(二) 実施概要

順次	調査年月日	調査船名	測点数	調査員	備考
1	48. 5. 9 ~ 5. 11	図南丸	12	友利	調査年月日は実際観測月日で往復日数を含まない
2	48. 7. 24 ~ 7. 26	"	"	"	
3	48. 10. 15 ~ 10. 17	"	"	金城	
4	48. 11. 26 ~ 11. 28	"	"	喜屋武	
5	49. 1. 16 ~ 1. 18	"	"	金城, 友利	
6	49. 3. 28 ~ 3. 31	"	"	友利	

(3) 沿岸定線調査 (2定線) 定線名 沖縄南部海域沿岸定線, 金武湾沿岸定線

(イ) 実施調査船

船名 くろしお 船長名 比嘉幸一 乗組員数 総員7名

調査船項目

屯数 2144トン

馬力 100馬力

機関の種類 ヤンマーディーゼル6LD-FE (補機ヤンマーSL15, 13.5PS)

速力 80ノット

測深機 型式TS00型馬力0.75KWワイヤー長500m

音響測深機 型式光電SR660 Type 12 skipper 周波数28 KC 200 KC

(ロ) 観測定線 第1図のとおり

(ハ) 調査項目

a) 水温塩分の各層観測

観測層0, 10, 20, 30, 50, 75, 100, 150, 200m層

b) 一般気象 海象の観測

c) 産卵調査 沖縄南部海域沿岸定線ST1, 3, 5, 7, 9, 10の6定点

金武湾沿岸定線ST2, 3, 5, 7, 8の5定点

稚魚ネット (㊦ネット) の表層曳 (約2ノットで5分間曳)

㊦ネット (口径45cm) 50m→0mの鉛直曳

d) 魚群生態調査 魚群探知機による調査

e) その他 沖合定線に準ずる

(ニ) 実施概要

航次	調査年月日	調査船名	測点数	調査員	調査海域
1	48. 5. 8 ~ 5. 9	図南丸	10	友利	沖縄南部
2	48. 5. 28	くろしお	8	喜屋武・川崎	金武湾
3	48. 6. 28 ~ 6. 29	くろしお	18	喜屋武・吉川	沖縄南部, 金武湾
4	48. 7. 27	図南丸	10	友利	沖縄南部
5	48. 8. 24 ~ 8. 25	くろしお	18	喜屋武・吉川	沖縄南部
6	48. 10. 18	図南丸	10	金城	沖縄南部, 金武湾
7	48. 10. 30 ~ 10. 31, 11. 4	くろしお	18	友利	沖縄南部
8	48. 12. 14 ~ 12. 18	くろしお	18	金城・川崎	沖縄南部, 金武湾
9	49. 1. 19	図南丸	10	金城・友利	沖縄南部
10	49. 2. 20 ~ 2. 21	くろしお	18	喜屋武	沖縄南部, 金武湾
11	49. 3. 31	図南丸	10	友利	沖縄南部

(4) 観測機器

風向風速計ベーン式

転倒水温計防圧10本被圧4本

自記海水温度計

転倒採水器6本

サリノメーター (T. S製)